

## 第86回マチコミリサーチ 『柔軟な働き方を実現！？在宅ワークについて』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『柔軟な働き方を実現！？在宅ワークについて』のアンケートを実施いたしました。

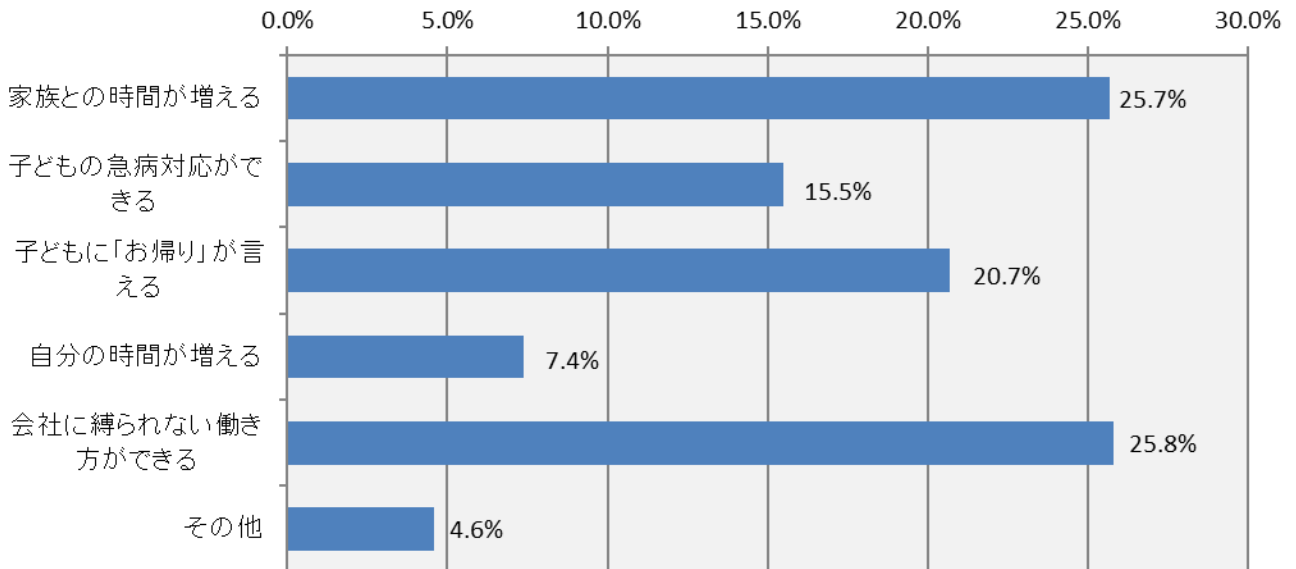
### <調査概要>

調査期間	2021年6月17日(木)～6月22日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校のマチコミメール会員
調査対象数	2,030,779 名
有効回答数	23,828件

### <質問項目>

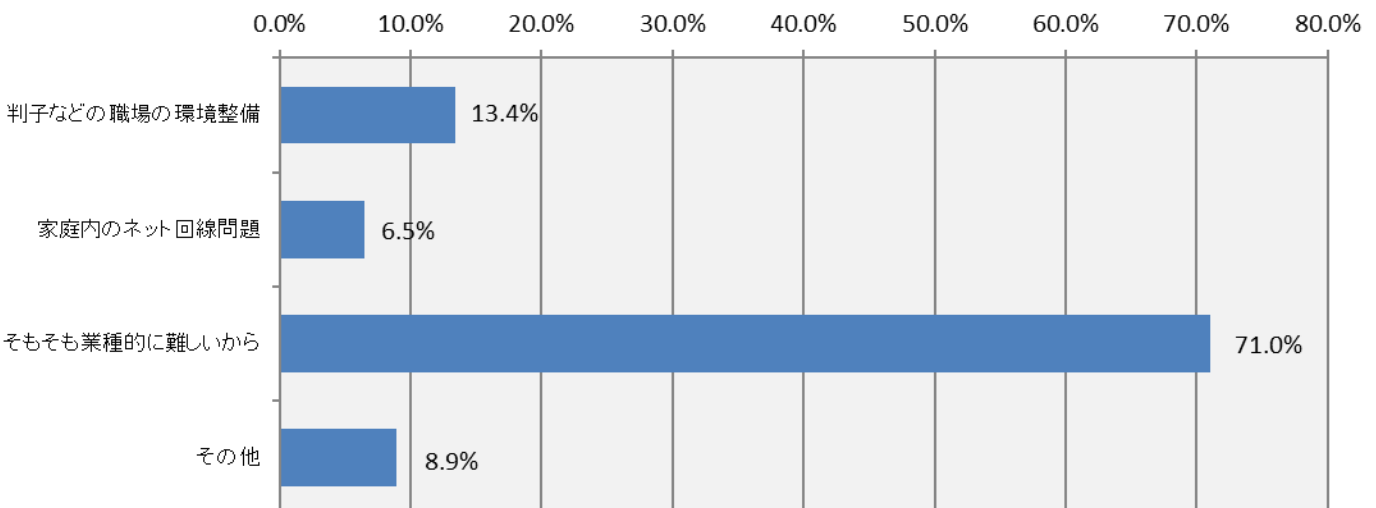
1	在宅ワークのメリットはなんだと思いますか？
2	在宅ワークができない(普及しない)理由はなんですか？
3	在宅ワークで時間に余裕ができたらどんな時間を増やしたいですか？
4	ところで新年度に入りお子さまの学習状況に満足されていますか？
5	お子さまの学習にもっと関わっていきたいと思いますか？
6	家庭に子育てに自分の趣味にと全て両立できる仕事があればチャレンジしてみたいですか？

### 質問1:在宅ワークのメリットはなんだと思いますか？



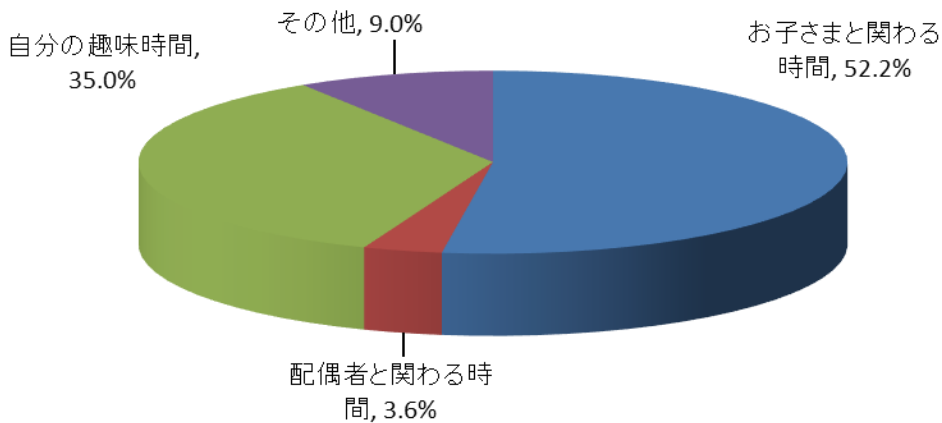
「会社に縛られない働き方ができる」「家族との時間が増える」「子どもに「お帰り」が言える」、の順で回答の多い結果となりました。在宅ワークによって、会社に縛られない柔軟な働き方ができることで、家族にあわせた時間の使い方ができたりお子さまをより近い距離で見守る時間が増えることにメリットを感じている方が多いようです。

### 質問2:在宅ワークができない(普及しない)理由は何ですか？



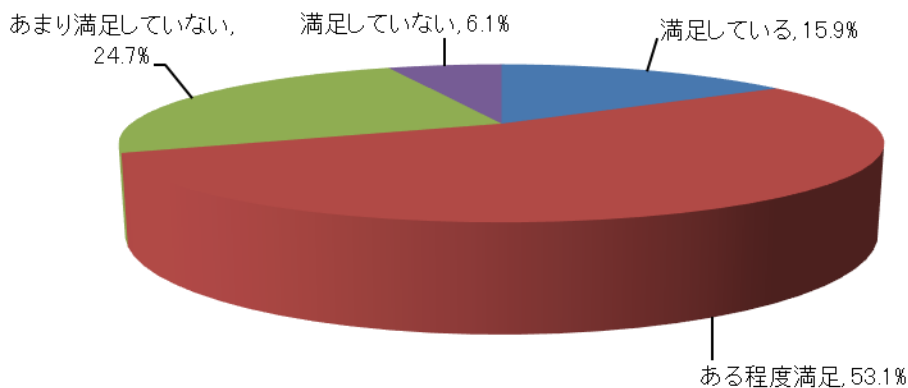
「そもそも業種的に難しいから」が最も多く、7割を超える結果に。職場の環境や家庭のネット環境よりも、職業として在宅ワークでは仕事が成り立たない実態が浮き彫りとなりました。いくらインターネットが普及し、在宅ワークが推奨されているからといっても、人の手が直接必要となる仕事は山ほどあり、なかなか現実的ではない様子が分かります。

### 質問3: 在宅ワークで時間に余裕ができたらどんな時間を増やしたいですか？



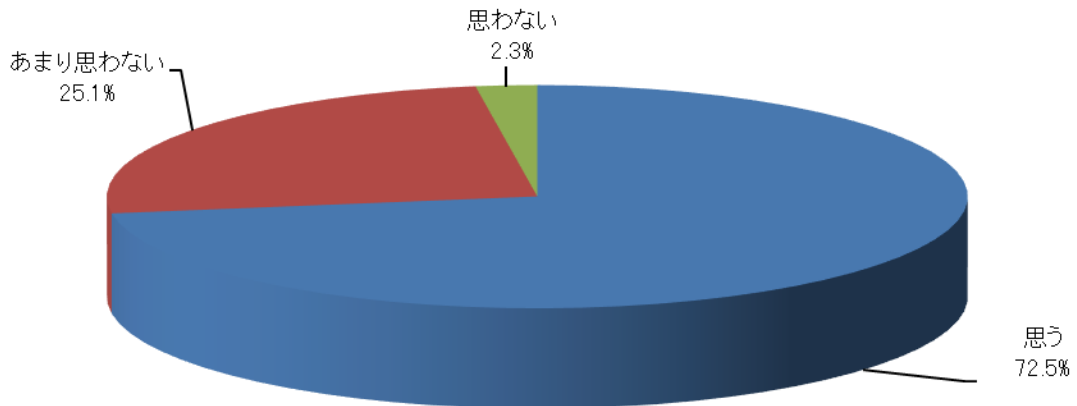
半数以上の方が「お子さまと関わる時間」と回答されました。自分の時間も確保したいところですが、お子さまの成長を間近で見られているのも今の時期だけ。少しでも時間に余裕ができたら、お子さまの成長を見逃さないように一緒に過ごす時間を増やしたいと考えていらっしゃる方が多いようですね。

### 質問4: ところで新年度に入りお子さまの学習状況に満足されていますか？



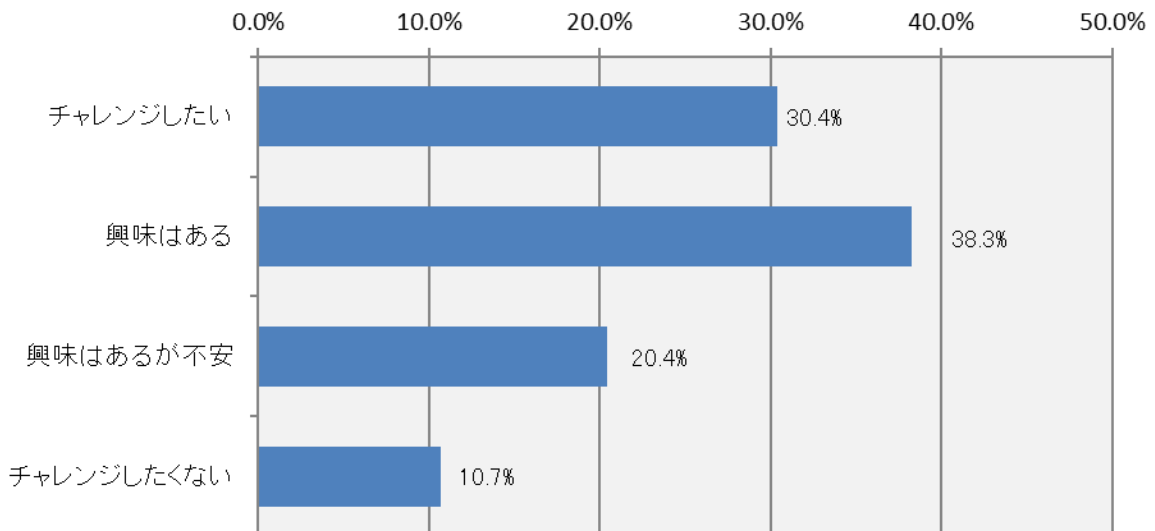
「満足している」「ある程度満足」との回答をあわせると7割近くを占める結果に。新年度に入り、今のところ順調に学習が進んでいるようですね。一方、「あまり満足していない」「満足していない」と回答されたのは3割ほど。今後学習が深まるにつれて、苦手意識が出てくる前に親もできるだけ協力したいところです。

**質問5: お子さまの学習にもっと関わっていきたいと思いますか？**



「思う」との回答が7割を超える結果となりました。少しでも余裕ができればお子さまの学習に積極的に関わっていきたいと考えている様子が分かります。親としては、どんな科目が得意で、どんな分野に苦手意識を感じるのか、できるだけ近くで見守りながらサポートしていきたいですね。

**質問6: 家庭に子育てに自分の趣味にと全て両立できる仕事があればチャレンジしてみたいですか？**



約3割の方が「チャレンジしたい」と、新しい働き方への意欲が高い傾向が分かりました。また、4割近くの方も「興味はある」と回答。昨年実施した同様の質問と比較すると、不安に感じている方が半減し、興味があるとの回答が大幅にアップしている状況が明らかになりました。柔軟な働き方にシフトしていると考えている方が増えているようですね。これを機に、一歩踏み出してみるのはいかがでしょうか？

## まとめ

アンケートの結果から、在宅ワークへの魅力を感じている方は多いものの、業種的に在宅ワークが困難な職種が多く在宅での働き方が現実的ではないため、すぐに切り替えられない方がほとんどである実態が浮き彫りとなりました。また、在宅ワークが実現したとして、通勤時間の短縮で捻出した時間をお子さまと関わる時間に充てたいとの回答も半数以上を占めており、特にお子さまの学習にも積極的に関わっていきたいとお考えの方が多くようです。

昨年実施した在宅ワークに関するアンケートと動向を比較してみても、昨年より前向きに検討している方の割合が多い結果となり、柔軟な働き方へ方向転換をお考えの方が増加している傾向がわかりました。在宅ワークへのイメージが変化している現状も見えてくる、興味深いアンケート結果となりました。

在宅ワークで働きながらお子さまに寄り添いつつ、学習状況まで見守れる柔軟な働き方の実現に向けて、これを機に一步踏み出してみたいはいかがでしょうか。